

### 月平均 500mb 天気図. 1988年10月

(破線は平年からの偏差. 単位:m)

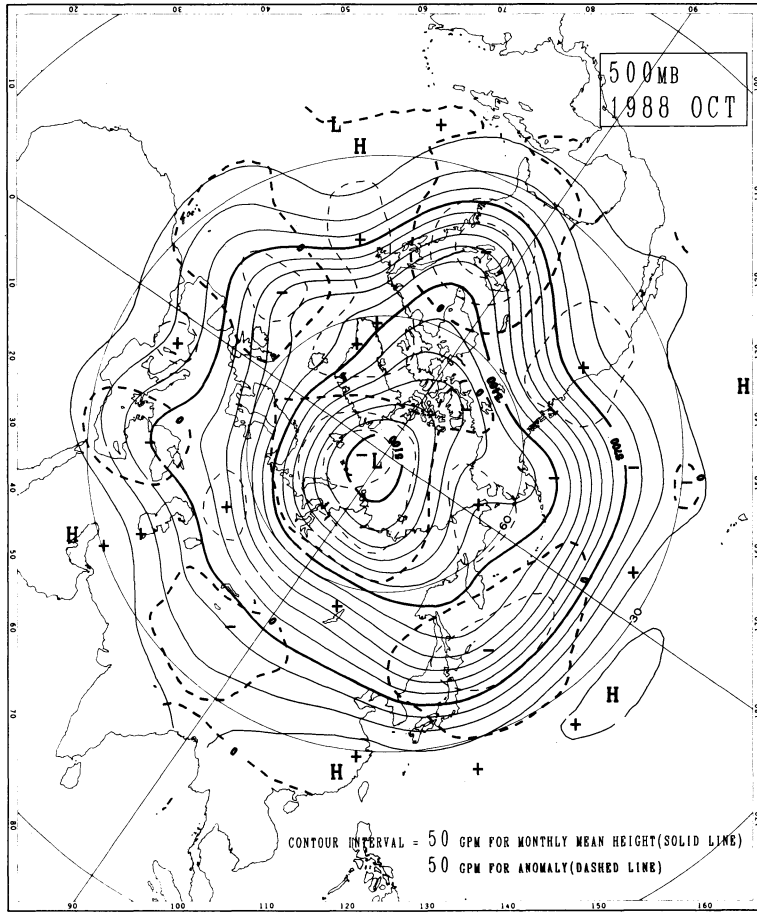


表1 昭和63年 10月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
パリ	12.2	1.1	1.0	74	151	5	カサブランカ	19.8	0.4	0.4	15	38	2
ベルリン	10.3	0.7	0.5	21	47	2	ニオロドサヘル	31.0	1.0	1.7	0	0	1
ローマ	18.2	1.0	0.9	99	90	3	ブレトリア	19.5	-0.1	-0.1	68	121	4
アテネ	—	—	—	—	—	—	バンクーバー	11.3	1.2	0.9	108	92	3
モスクワ	4.9	0.4	0.2	28	55	—	ニューオリンズ	20.0	-1.1	-0.6	73	101	4
オデッサ	9.9	-1.2	-0.6	63	180	—	セントルイス	12.2	-2.7	-1.4	47	64	3
ニューデリー	26.0	0.1	0.1	0	0	2	サンフランシスコ	16.3	0.5	0.6	11	58	3
カルカッタ	—	—	—	—	—	—	ニューヨーク	11.7	-3.1	-2.2	78	91	3
ボンベイ	28.5	0.2	0.3	239	272	5	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	24.4	-0.3	-0.4	62	188	4	リオデジャネイロ	22.4	0.1	0.1	148	200	5
チャンチュン	8.2	1.1	1.1	10	37	1	ロサリオ	18.2	1.4	1.1	53	51	2
ベキン	14.1	1.6	1.8	23	110	3	ホノルル	26.7	1.0	1.4	6	13	1
シャンハイ	19.2	1.3	1.4	4	9	1	タヒチ	25.4	0.6	1.2	80	99	4
バンコク	27.8	0.2	0.5	380	149	—	ダーウイン	29.7	0.6	1.2	162	245	5
マニラ	28.3	1.1	2.8	617	307	5	キャンベラ	13.4	1.3	1.4	29	40	1

## 10月の世界の天候

## ① シベリアの多雨

シベリア中部では7月以来の多雨傾向が続いている。フィリピンでは、台風27号、28号により農作物に被害が出たほか、大きな海難事故も発生した。中国では、これらの台風の影響を受けた南部を除き全般に少雨気味となった。

## ② インド南部の高温少雨

インドでは全域にわたって中旬以降ほとんど雨が降らず、モンスーンはほぼ終了したものとみられるが、今年のモンスーン期の降水量は、今世紀に入って5番目に多い記録といわれ、雨の総量、分布、時期など総合的に判断すると、今年は農作物にとって最も好ましい年のひとつとなった模様である。一方、バングラディッシュでは、サイクロンに襲われ沿岸部で大きな被害があった。

## ③ 地中海地方西部の高温

ヨーロッパは、地中海西部を中心に南部で高温となった。イタリアのペロナで  $15.6^{\circ}\text{C}$  (平年差  $+2.6^{\circ}\text{C}$ ) など。イタリア北部やフランス南部などで雨が多く、フランスのニームで  $363\text{mm}$  (平年比  $4.0$  倍) など多雨となったところもあり、フランス南部では月初めに洪水被害が発生した。

## ④ アメリカ合衆国東部の低温

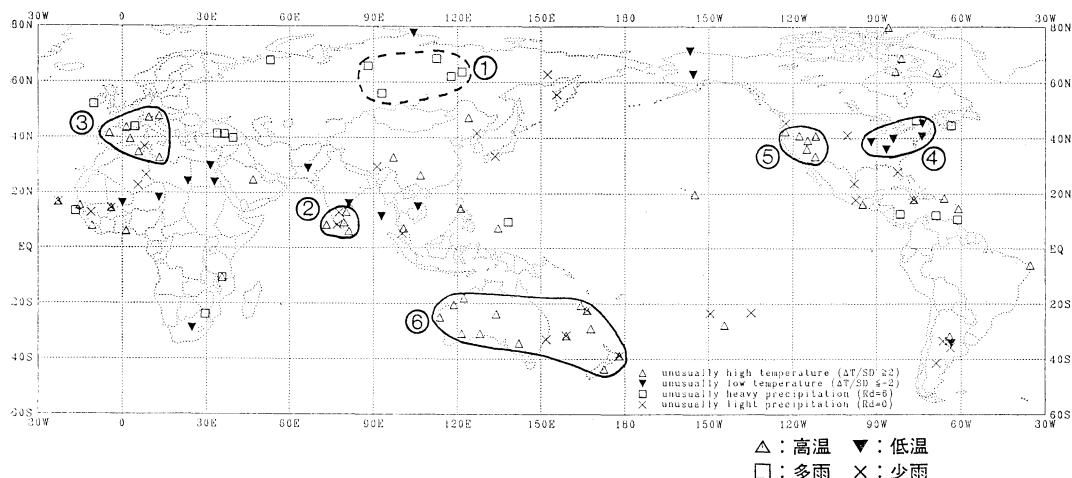
## ⑤ アメリカ合衆国西部の高温

アメリカ合衆国東部は数度の寒波に見舞われ、月平均気温としても低温となった。ワシントン  $12.4^{\circ}\text{C}$  (平年差  $-2.6^{\circ}\text{C}$ ) など。対照的に西部は高温となり、カナダの穀倉地帯にかけて少雨傾向となっている。9月まで雨の多かったメキシコも少雨がめだってきた。地中海沿岸では、ハリケーン・ジョーンが西進してニカラグアに上陸。ニカラグア、コスタリカ、ホンジュラスなどで被害が発生した。南アメリカでは、最南部を除いて乾燥気味だったブラジル南部に、月の半ば以降十分な降雨があり、とうもろこし、大豆、コーヒーにとっては恵みの雨となった。アルゼンチンも多雨となった9月に引き続き、東部では適度な降雨があったが、西部では少雨となった。

## ⑥ オセアニアの高温

オーストラリア全域、ニュージーランド、メラネシアで高温となった。ニュージーランドのクライストチャーチ  $13.9^{\circ}\text{C}$  (平年差  $+3.1^{\circ}\text{C}$ ) など。メラネシアの高温は、5月以来が続いている。低緯度地方を除き、オセアニア全般に少雨気味となっている。

(気象庁長期予報課 三浦 芳敬)



1988年10月の世界の異常天候分布図  
図中の番号は、本文中の番号と対応している。

1988年10月の気候表の説明

降水階級は、1931—1960年のデータに基づく五分位値。0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。

1988年12月